

**課題** かおりさんは、146まいの色紙をもっています。妹に89まいあげました。のこりは何まいですか。

今までのひき算とどこが違うのかな。

百の位と十の位に気を付けて筆算の仕方を考えましょう。

- 既習事項**
- ① 絵や図にかいて考えるとできそうだよ。
  - ② 十の位と一の位に分けると筆算でもできるんじゃないかな。
  - ③ 今まで学習した繰り下がりのある筆算を使って計算できそうだよ。

**自力解決**

① 絵にかいて考えました。

② 十の位と一の位に分けて計算しました。

一の位の計算ができない。

146を130と16に分ける。  
 16-9ならばひくことができる。

$$\begin{array}{r} 146 \\ - 89 \\ \hline 130 \quad 16 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 130 \\ - 80 \\ \hline 50 \end{array} \quad \begin{array}{r} 16 \\ - 9 \\ \hline 7 \end{array}$$

だから 50 + 7 = 57  
 答え 57枚

③ 筆算で計算しました。

$$\begin{array}{r} 146 \\ - 89 \\ \hline 57 \end{array}$$

- ・一の位6から9はひけない。
- ・十の位から1繰り下げて計算する。
- ・一の位は16-9=7
- ・十の位は3になって3-8はひけないから、百の位から1繰り下げる。(百の位は0)
- ・13-8=5だから 57になる。
- 答え 57枚

**指導上の留意点**

- 既習事項を想起させ、一人一人に考えをもたせる。
- 考えの根拠を意識させる。児童がどこで悩んでいるかを把握し、必要に応じて助言する。

**集団思考**

1 自分の考えをペアで発表し合う。

筆算で考えたんだけど、十の位はどうしたの？

私も筆算で計算したんだけど、一の位がひけないから、まず十の位から1繰り下げて16-9=7。十の位は3になっているから、3から8はひけないから、同じように百の位から1繰り下げて計算して5。百の位は0になったから、57になったわ。

- 全ての児童に発表機会を確保する。共通点や相違点、疑問点を確認させる。

友達の考え方で似ているところはどんなことかな。それぞれの「位」に注目してみよう。



## 2 それぞれの考え方を発表し、共通点から筆算の仕方について話し合う。



一の位はひけないから十の位から繰り下げる。同じように十の位もひけないから百の位から1繰り下げている。

十の位がひけないときは、百の位から繰り下げればいいのね。



繰り下がりが2回あるときも、位の小さい方から計算すればいいんだね。繰り下げているところは、1小さくなっていることに気をつけないといけないね。

## 3 繰り下がりが2回の筆算の仕方をまとめる。

繰り下がりが2回あるときの筆算で、大切なことはどんなことですか。



一の位から順番に計算します。一の位がひけないから、始めに十の位から1繰り下げます。次に十の位がひけないときは百の位から1繰り下げれば計算できます。

繰り下げた位は、1小さくなっていることを忘れないで計算することが大切です。



- 類型化した考え方を教師が意図的に発表させる。「位」を話し合いの視点として示し、共通点に気付かせる。

- 十の位から1繰り下げるときと同様に、百の位から1繰り下げて計算していることに気付かせる。

まとめ

## ○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- 適用問題に取り組ませ、実感をもたせて理解させる。